



 白金、Platinum 触媒から抗がん剤まで、可能性を十分に秘めた期待の星。	 金、Gold 装飾用はもちろん、携帯電話やスマホの中で極細線となって電気をつなぐ大切な役目を果たすマルチタレント。	 銀、Silver 銀なくして写真は生まれなかった。鏡にも使われる身近な存在。	 パラジウム、Palladium 水素を大量に取り込める性質で高純度水素製造装置として威力を発揮。
 ロジウム、Rhodium 塊の状態であれば、どんなものにも溶けない。非常に硬く、表面を硬くするためにめっきに使われる。	 イリジウム、Iridium 硬さ、耐食性に優れ、自動車用スパークプラグや、高温に耐えるためLED用サファイヤ基板製造用のつぼにも使用されている。	 ルテニウム、Ruthenium 水から水素を発生させる光触媒として活躍。ハードディスクの記録容量の増加に貢献。	 オスミウム、Osmium バイオテクノロジーや科学捜査に役立っている。

ISO26000の中核主題

 組織統治	 人権	 労働慣行	 環境	 消費者課題	 公正な事業慣行	 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展
---	---	---	---	--	--	---

この冊子は石灰石から生まれた環境に優しい新素材LIMEXを使用しており、1冊で約19Lの水を守ります。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



CSR報告書 2021



企業理念

TANAKAグループは、
貴金属のリーディングカンパニーとして、
創造性あふれる技術力をもって、
お客様の信頼と期待にスピーディーに応え、
貴金属がもたらすゆとりある豊かな社会の実現と、
美しい地球の未来に貢献します。

行動指針 Code of Conduct

- | | |
|----------|--------------------|
| 1. あいさつ | Greet Everyone |
| 1. えがお | Show your Smile |
| 1. かんしゃ | Give Thanks |
| 1. あんぜん | Maintain Safety |
| 1. ちょうせん | Challenge Yourself |



LBMA
GOOD DELIVERY
REFEREE



LONDON
PLATINUM &
PALLADIUM
MARKET

田中貴金属工業(株)は、ロンドン地金市場協会(LBMA)より、金および銀の公認審査会社に任命されています。また、ロンドン・プラチナ・パラジウム・マーケット(LPPM)の公認審査会社にも任命されています。どちらも、世界で5社のみ(国内では田中貴金属工業(株)のみ)が、貴金属の公認溶解業者の溶解技術・分析能力を審査する使命を担っています。

編集方針

CSR報告書は、貴金属がもたらすゆとりある豊かな社会と美しい地球の未来の実現に向けて田中貴金属グループが進めているCSR(企業の社会的責任)活動を報告するとともに、今後の取り組みのレベルアップに向けてステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図ることを目的に発行しています。これからも皆様のお声を田中貴金属グループの今後の取り組みに活かしていきたいと考えておりますので、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

対象期間

2020年4月1日～2021年3月31日

ただし、各テーマに沿った会社の活動の全体像を知っていただくために、一部対象期間外の内容も掲載しています。

対象範囲

TANAKAホールディングス株式会社と連結子会社を含むグループ全体を対象としています。ただし、メタローテクノロジーズインターナショナル株式会社を除きます。なお、対象範囲が異なる場合は当該箇所に明示しています。

発行時期

2021年10月

参考ガイドライン

ISO26000:2010

環境報告ガイドライン2018年版

ウェブサイト

本報告書の閲覧はバックナンバーを含め、
下記のウェブサイトをご利用ください。

<https://www.tanaka.co.jp/csr/index.html>

発行責任部署

TANAKAホールディングス株式会社

サステナビリティ・広報本部 CSR推進部

〒100-6422

東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング22階

TEL 03-6311-5506(直)

FAX 03-6311-5508

ホームページ

<https://www.tanaka.co.jp/about/csr>

国内拠点

TANAKAホールディングス株式会社(THD)

- 本社(東京)

田中貴金属工業株式会社(TKK)

- 本社(東京)・岩手工場・富岡工場・市川工場・袖ヶ浦工場
- 伊勢原工場・平塚工場・湘南工場・平塚テクニカルセンター
- 筑波事業所(テクニカルセンター)・伊勢原テクニカルセンター
- FC触媒開発センター・TANAKA物流センター
- 名古屋支店・大阪支店・福岡支店・京都営業所

田中電子工業株式会社(TD)

- 佐賀本社工場・東京事務所・湘南分工場

日本エレクトロプレイティング・エンジニアーズ株式会社(EEJA)

- 本社(東京)・平塚事業所

田中貴金属ジュエリー株式会社(TKJ)

- 銀座本店・新宿店・横浜元町店・仙台店・名古屋店
- 心斎橋店・福岡 西鉄グランドホテル店

三友セミコンエンジニアリング株式会社(MSE)

- 本社・工場(茨城)

株式会社日本ピージーエム(PGM)

- 本社(東京)・小坂工場

海外拠点

田中貴金属工業株式会社(TKK)

- 台湾田中貴金属工業股份有限公司・台北営業・高雄営業・田中先端有色金属材料(寧波)有限公司・田中先端有色金属材料(成都)有限公司
- 田中貴金属工業株式会社 ソウル支店・田中貴金属工業株式会社 香港支店・田中貴金属(上海)有限公司
- 田中貴金属(上海)有限公司 深圳分公司・田中貴金属(シンガポール)株式会社・田中貴金属(シンガポール)株式会社 マニラ支店
- 田中貴金属インターナショナル(タイランド)株式会社・田中貴金属インターナショナル(アメリカ)株式会社
- 田中貴金属インターナショナル(アメリカ)株式会社 サンノゼ支店・田中貴金属インターナショナル(欧州)有限公司
- 田中貴金属(インド)株式会社

田中電子工業株式会社(TD)

- 田中エレクトロニクス・シンガポール Pte. Ltd. (TES)・田中エレクトロニクス・マレーシア Sdn. Bhd. (TEM)・田中電子(杭州)有限公司 (TEC)
- 台湾田中電子股份有限公司 (TET)・台湾田中電子股份有限公司 テクニカルセンター (TET/TC)

日本エレクトロプレイティング・エンジニアーズ株式会社(EEJA)

- 鉄甲新材料科技(上海)有限公司

Metalor Technologies International SA

LT Metal Co., Ltd.(LT Metal)

Nippon PGM America, Inc.

Nippon PGM Europe S.R.O.

成都光明派特貴金属有限公司(GMPT)

2021年5月末現在

CONTENTS

02 トップメッセージ

TANAKAの強み

04 TANAKAの事業

特集

06 特集1 新型コロナウイルス感染症への対応

08 特集2 循環型社会の構築をめざして

12 特集3 環境異常対策の歴史

持続可能な未来に向けて

14 研究開発

信頼を築き続ける

16 品質と信頼

18 地球環境を守る

22 地域・社会への貢献

24 一人ひとりの活躍

28 より安全な職場環境づくり

31 CSRマネジメント

32 誠実で健全な企業であるために

34 CSRパフォーマンス

36 CSR報告書アンケート結果

37 第三者保証

TANAKAは 200年企業をめざし、 新たな航海を始めます。



代表取締役社長執行役員
田中 浩一郎

田中浩一郎

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々にお見舞いを申し上げますとともに、治療や感染予防にご尽力いただいているすべての医療関係者の皆様に心より感謝と尊敬の意を表します。田中貴金属グループではさまざまな感染症対策を講じて事業を継続してきました。生産・開発の現場ではお客様への供給責任と共同開発責任を果たすために、また資産用・宝飾用事業の最前線では卸売・小売など貴金属流通の責任を果たすために、そして何より従業員とご家族の安全と健康を守るために、今後も感染回避の努力・工夫を重ねてまいります。

私は2020年4月の代表取締役社長執行役員就任以来、超長期視点による経営を志向しています。当社の創業200年となる2085年を見据えた上で

持続可能な社会や超長期の企業経営について考えるよう心掛けています。誰も見たことがない未来をつくるという思考の繰り返しは、かつてまだ見ぬ世界を求めて欧州から人々が船出した大航海時代を思い起こさせます。

そこで、2021年度より「TANAKA Renaissance Plan」を掲げ、全従業員とともにまだ見ぬ未来への大航海を始めるとにしました。その準備段階として、2020年度に若手従業員を中心とした社長直轄のプロジェクトチームを設置し、胸襟を開いて率直な議論を交わしました。65年後の気候や資源などの地球環境を想像し、食糧や医療、都市など人々の生活を支える産業について2085年の姿を描いたマップの作成に取り掛かりました。半年間の議論を通

して、食事、ファッション、健康、移動手段などの日常生活から都市計画、宇宙開発まで、2085年の世界における貴金属の可能性と当社のポテンシャルの高さを再認識することができました。

貴金属は、可能性の塊です。宇宙、深海、人体をはじめとしたフロンティアの開拓も、人々の暮らしをより豊かにするデバイスやプロダクトの開発も、貴金属なしに成し得ることはできません。その貴金属の可能性を引き出し、より良い未来を創り出していくことが、貴金属のリーディング・カンパニーである私たちの使命といえます。

「TANAKA Renaissance Plan」の中でキーワードとして重視したのが「サステナビリティ」です。気候変動や資源循環などの地球環境問題、なら

びに人権や貧困などの社会課題解決に向けた取り組みが各本部・カンパニーの長期シナリオに盛り込まれています。また、今後より一層持続可能な社会の構築へ注力することを社内外へ象徴的に示すために、CSR・広報本部の名称を「サステナビリティ・広報本部」へと変更しました。

田中貴金属グループは、創業以来130年以上にわたり貴金属のリサイクルを究めることで循環型ビジネスを構築してきました。今後も希少な資源である貴金属を扱う当社の強みを活かして地球環境問題と社会課題の解決に貢献するとともに、創業200年を迎える2085年に向けて新たな航海を始めます。

TANAKAの事業

TANAKAは創業から130年以上にわたり、
貴金属による特別な価値を世界へ届け続けてきました。
これからも貴金属ができるすべてのことに取り組み、
新しい領域を切り拓いていきます。

◆ 産業用

半導体・電子部品から車載、医療まで、幅広い事業分野において
お客様が抱える課題を解決する製品をお届けしています。
“縁の下の力持ち”として、貴金属材料の安定供給を通じて産業全般を、
そして社会の根幹を支えています。



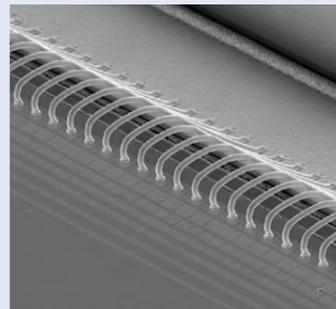
リサイクル



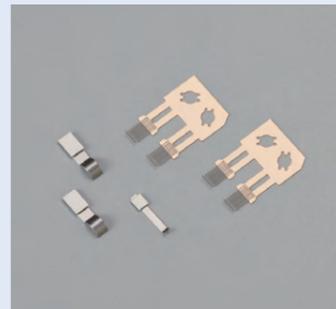
貴金属材料・素材



電気機能材料
(リレー・モーター・スイッチ)
エレクトロニクス機能材料



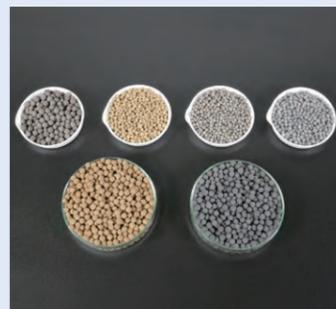
パッケージ・封止
半導体・電子部品



センサ材料



ガラス溶解装置・理化学品



エネルギー・環境
触媒



メディカル
検査キット



技術開発
化合物

◆ 資産用

資産を最適に分散し保全するための金・プラチナ商品を提供しています。



地金・コイン

金は6,000年の間一度もその価値を失ったことがない唯一の
存在であり、世界共通の資産です。
LBMA¹、LPPM²の公認審査会社でもある当社は、世界最高水
準の技術で金地金、プラチナ地金を製造しており、お客さまの
安心のため、必ず新品の地金のみを販売しています。
また当社は各国造幣局に発行国以外で唯一認められた輸入販
売総代理店として、金貨、プラチナコインを販売しています。
美しいデザインは贈り物としても人気があります。

¹ LBMA London Bullion Market Associationの略
² LPPM London Platinum and Palladium Marketの略

貴金属積立商品

「田中貴金属の純金積立」は、1つの口座で月々3,000円から
「金」「プラチナ」「銀」を購入することができる商品です。未来の
安心に向けて、着実に続けられます。

田中貴金属の
純金積立

◆ 宝飾用

人生のさまざまなシーンを輝かせる宝飾品を、永く愛するにふさわしい確かな品質でお届けしています。

ジュエリー・工芸品

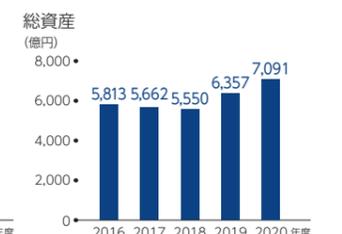
“田中貴金属”の歴史と伝統に培われた確かな品質をお客様にご提供しています。



田中貴金属グループ財務状況

■ 業績要約

	百万円		
	2019 年度	2020 年度	前年度比
売上高	1,149,604	1,425,617	124.0%
当期純利益	18,113	39,547	218.3%
総資産	635,662	709,140	111.6%
自己資本比率	37.7%	38.5%	—



メタローテクノロジー・インターナショナル(株)含む

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)への対応

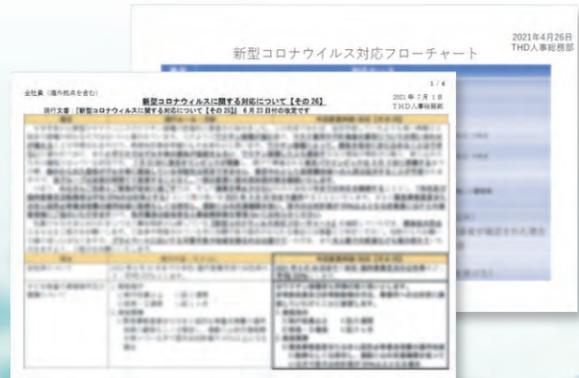
田中貴金属グループでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、お客様、ならびに従業員および家族の安全を確保し、操業を停止せずにお客様への供給責任を果たすため、日々変化する状況に応じて迅速に対応しています。

緊急対策本部の設置

2020年4月の第1回目の政府による緊急事態宣言発令に伴い、田中貴金属グループ緊急対策本部を設置しました。感染をしない・させないための方針の立案、体制の構築、グループ内・外の情報集約などを行っています。

全社的な取り組み

新型コロナウイルスに関する対応についてまとめた文書を、社会情勢に応じて頻りにアップデートしています。文書は、「出社率」「出張(国内・海外・グループ内他拠点)」「訪問者の受け入れ」「会議・研修」「社内懇親会」「接待」「時差出勤」「在宅勤務」「飛沫感染防止策」「行動自粛」等について記載しています。



社内制度の制定

社員の感染防止を図るため、次の社内制度を制定しました。

○在宅勤務および時差出勤

本社および各支店勤務者に対しては、通勤時の感染リスクおよび従業員同士の接触を極力抑えるために在宅勤務や時差出勤を推奨して感染防止を図っています。

制度の導入にあたり「在宅勤務教育」を展開するなど、制度の定着に取り組んでいます。

現在は月毎に出社率の上限を設定し、上限ラインを超えない範囲で出社する人員の管理を行っています。

また、やむを得ず出社を行う場合は各自の利用している公共交通機関の混雑具合を勘案し、それぞれ時差出勤を行っています。



○衛生用品購入手当

2021年4月から新型コロナウイルス対策手当として月額2,000円を全社員に支給しています。

○PCR検査の実施

部長級以上の役職者は定期的にPCR検査を受けています。また、全社員を対象に希望者へのPCR検査を実施しました。

○ワクチン接種時に特別有給休暇付与

社員が安心してワクチンを接種できるよう接種日には特別有給休暇を付与します。(2回)

○妊産婦への配慮

妊産婦が主治医等から休業の指導を受けた場合には特別有給休暇を付与します。

その他の取り組み

○従業員が出退勤時に利用する入口付近に体温測定機器の設置

○会議室への二酸化炭素濃度計(CO₂モニター)の配備

○事務室や会議室および休憩室などに飛沫防止のパーティション・消毒液・除菌シートの設置および椅子の間引き、レイアウトの変更の実施

○会議室の利用人数制限設定およびその明示

○会議開催時、一時間ごとの換気休憩実施の徹底

○食事中の会話を控える

○職場消毒清掃



エントランスの体温計測器



CO₂モニター

工場・事業所・各部門での取り組み

○各人の行動記録表記入

(体温や、接触した方等々を記入)

○通勤用バスの増便(TKK市川工場・TKK湘南工場)

○一部の扉を非接触のものへ変更

○営業部門で定期的なPCR検査の実施

○生産ラインの2交代制導入による、密の回避および生産停止の未然防止

○会議室利用による事務エリアの分散化

○オンライン会議システム導入による対面会議の回避

○健康管理室のベッド利用制限

○向かい合っでの飲食をしないよう食堂のレイアウトを変更



平塚工場食堂



湘南工場食堂

店頭での取り組み

○一部フロアを閉鎖して営業

○お客様の手指消毒、検温、マスク着用へのご協力要請

○エレベーター床やフロア床に立ち位置ガイドを貼付

○地金フロアのお客様への整理券配布による入店制限

○地金フロアの待合イスを減数

○地金接客ブースへのアクリル板設置

○従業員のマスク、フェイスシールドの着用

○ご試着いただいたジュエリーは試着の都度消毒



店頭エントランスでのお客様への検温・手指消毒のお願い



お客様ご試着後の製品の消毒

循環型社会の構築をめざして

田中貴金属グループは、創業以来絶えることなく貴金属のリサイクルを継続してきました。今日では全従業員が「地金はお金」を合言葉に、生産設備内はもとより作業服等に付着した極微量の地金も丁寧に回収しています。

また、一般的には環境基本方針で「脱炭素社会」を挙げる企業が多い中で、当社は一貫して事業活動を通じて「循環型社会」の形成に寄与することを掲げてきました。

そこで、2021年度より始まった新中計「TANAKA Renaissance Plan」では循環型社会の構築、ならびにサーキュラーエコノミーの実現に向けた施策を強化すべく、「直接材」「間接材」「産廃(産業廃棄物)」の3つの領域で当社の活動を再整理しました。

直接材	貴金属の循環利用、環境指標の改善
間接材	CSR報告書再資源化の継続、他の間接材の再資源化を検討
産 廃	産業廃棄物の削減、ゼロエミッションの推進

TANAKA
田中貴金属グループ 環境基本方針

【基本理念】
田中貴金属グループは、健全な環境を次代に引き継ぐことを目指し、社会から信頼され、共生できる「良き企業市民」を目指した事業活動を推進します。

【環境方針】
田中貴金属グループは、貴金属製品の生産を核として、貴金属のリサイクルの貴金属を有効利用した省エネルギー精製など、環境保全にかかわる事業活動を通じて循環型社会の形成に寄与します。

- 環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善を行います。
- 環境関連の法律、条例、指定、自主基準及び当社が従事するその他の職業標準を遵守します。
- 当グループの活動、製品またはサービスに係る環境に影響を及ぼす事項のうち、次の事項を重点テーマとして取り扱います。
 - (1) 地球温暖化防止の観点、省エネルギーを重視し、電力等の消費削減につとめます。
 - (2) 有害物質を削減します。
 - (3) 廃棄物の削減及びリサイクルを推進します。
 - (4) 環境に有害な影響を及ぼす化学物質の管理徹底と削減を推進します。
- この方針を達成するため、環境目的・目標を定め、環境保全活動に取り組みます。また環境目的・目標は定期的に見直しします。
- この環境基本方針は社内外に公表し、全社員に環境教育等を通じて環境保全活動の向上を図ります。

2015年7月 改定

直接材

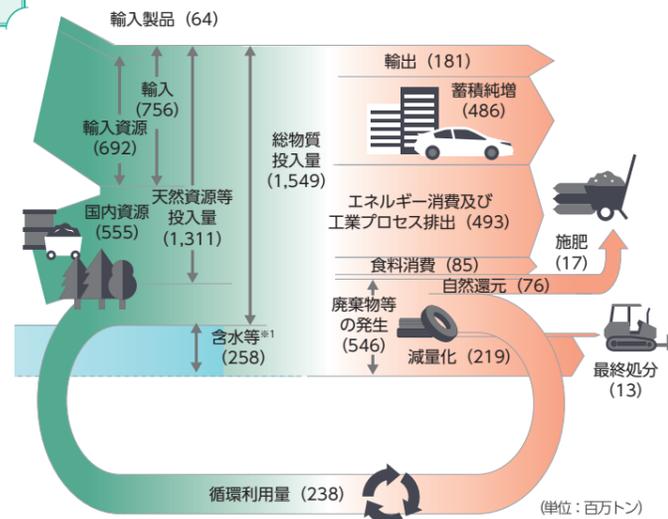
貴金属の循環利用

循環型社会の構築に向けた日本政府の動き

2003年3月に閣議決定された「循環型社会形成推進基本計画」において、日本全体の「物質フロー図」と、「資源生産性」「循環利用率」「最終処分量」の3つの指標が設定されました。

一方、2018年6月に「環境報告ガイドライン2018年版」が公表されました。今回の改訂では、物質フロー全体を網羅するのではなく、環境に与える重要な影響を事業者が自ら判断し開示するよう求められています。

●日本の物質フロー図(2018年度)



出典:令和3年版循環型社会白書

独自の環境指標を策定

そこで、田中貴金属グループでは2018年度に独自の環境指標を策定しました。環境報告ガイドライン2018年版の改訂を受けて、事業活動が直接的に環境に与える重要な影響を「貴金属地金の投入量および循環利用量」と定義し、国の循環基本計画と合わせた地金フロー図と「資源生産性」「循環利用率」の2つの指標を構築しました。なお当社グループは、貴金属地金を1gも廃棄していませんので、国の「最終処分量」にあたる指標は立てていません。

●田中貴金属グループ地金フロー図(2020年度)



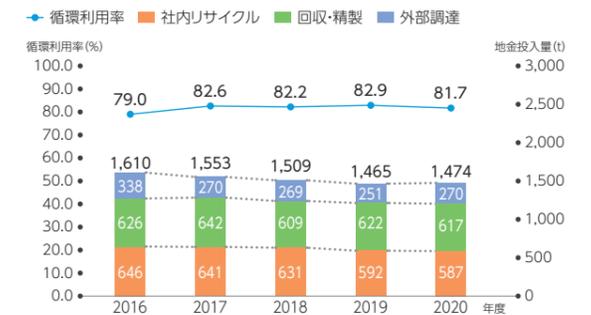
・貴金属の種類…白金、金、銀、パラジウムなど。
・外部調達…商社や鉱山会社など、市場から購入した地金。
・回収・精製…お客様からおあずかりした回収物より精製した地金。
・社内リサイクル…製造工程において発生した、製品とならなかった部分の地金。リターン材。何度も繰り返し再利用するため、インプットとアウトプットの重量は一致しない。
・出荷製品…製品として出荷した地金。

	国の循環基本計画指標	田中貴金属グループ環境指標
①資源生産性	GDP/天然資源等投入量	売上総利益/外部調達量
②循環利用率	循環利用量/総物質投入量	循環利用量/総地金投入量
③最終処分量	埋め立て廃棄物量	—

●資源生産性



●循環利用率



「資源生産性」は、外部調達地金1トン当たりの利益であり、環境視点での「稼ぐ力」と言えます。「循環利用率」は、総地金投入量に占める自社でリサイクルした地金量であり、約8割で推移しています。2020年度は資源生産性が過去最高となりました。今後、これらの環境指標を改善することで、循環型社会の構築とサーキュラーエコノミー※の実現に貢献します。

※循環型社会の実現と経済活動を両立させる概念。廃棄物や事業活動のムダから富を生み出すことが求められる。

RE:TANAKA(貴金属ジュエリーの買取)を通じたリサイクル活動

RE:TANAKAは、不要になった貴金属ジュエリーをお買取し、工業製品などさまざまな形で社会に還元していくリサイクル事業です。希少な貴金属資源の循環や、鉱山開発による自然環境ダメージの軽減に貢献することをめざしています。

田中貴金属の貴金属ジュエリー買取
RE:TANAKA
[リ・タナカ]

※RE:TANAKAは田中貴金属工業の貴金属ジュエリーリサイクルシステムです。

間接材

CSR報告書の再資源化

CSR報告書をLIMEXで印刷し、従業員が読み終えたCSR報告書を回収して再利用するアップサイクルを実現しました

LIMEXを
使用する

LIMEXを
回収する

LIMEXを
再利用する



TANAKA
CSR報告書2020



読み終えた
CSR報告書を回収



LIMEXコップを
全従業員に配付

LIMEXとは

LIMEX(ライメックス)は、地球上にほぼ無尽蔵に存在する石灰石を主原料とし、水と木材パルプをほぼ使用せずに紙やプラスチックの代替となる環境に配慮した新素材です。

「田中貴金属グループCSR報告書2021」では、1冊につき約19Lの水を守ることができます。



主なLIMEX製品

写真提供:株式会社TBM

LIMEXを採用した背景

田中貴金属グループでは、全従業員に対して毎年CSR報告書を配付しており、同時にアンケートを行っています。この従業員アンケートで「CSR報告書の印刷は資源の無駄遣いではないか」「他社は紙の印刷からPDFのみになっている」などの意見が出ていました。ただ、印刷をやめてPDFのみの発行にした場合、CSR報告書を読む従業員が減ってしまうのではないかとという事務局側の悩みがありました。

そこで、「CSR報告書2019」冊子版の印刷をLIMEXにして全従業員への配付を継続し、CSR報告書を読み終えて廃棄する従業員からは、冊子を回収してコースターに再利用しました。



コースター(2020年度)

CSR報告書の回収



回収箱(本社ビル)

読み終えたCSR報告書2,640冊を回収し、2021年4月に(株)TBM様へ送付しました。



CSR通信第1934号
(2020年10月29日発行)

CSR報告書の再資源化

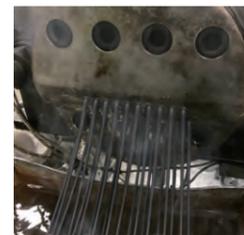
回収されたCSR報告書は、(株)TBM様の工場において破砕・ペレット化され、コップに生まれ変わりました。



破砕してホッチキスを除去



破砕されたCSR報告書



ペレット化



完成したコップ(2021年度)

再資源化したコップを全従業員へ配付

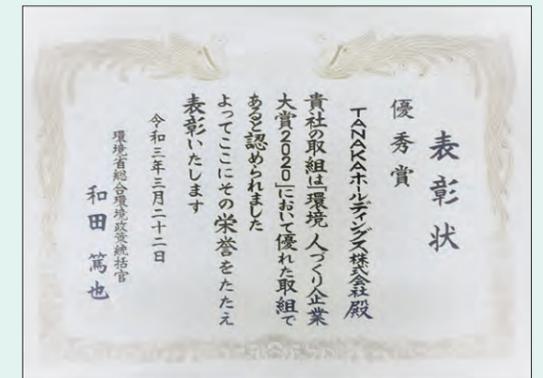
2021年7月、完成したコップを全従業員へ配付しました。従業員からは「CSR報告書から作ったことがロゴになっていて面白い」「色やデザインが素敵」「ペン立てやミニプランターなど他の用途でも使えそう」などさまざまな反響をいただきました。

今回の「CSR報告書2021」もLIMEXで印刷しており、読み終えた冊子の回収ならびに再資源化を継続します。

トピック

「環境人づくり企業大賞2020」
優秀賞を受賞

独自の環境指標やCSR報告書の再利用など資源循環への取り組みがサーキュラーエコノミーに貢献していると評価され、「環境人づくり企業大賞2020」大企業区分で優秀賞を受賞しました。



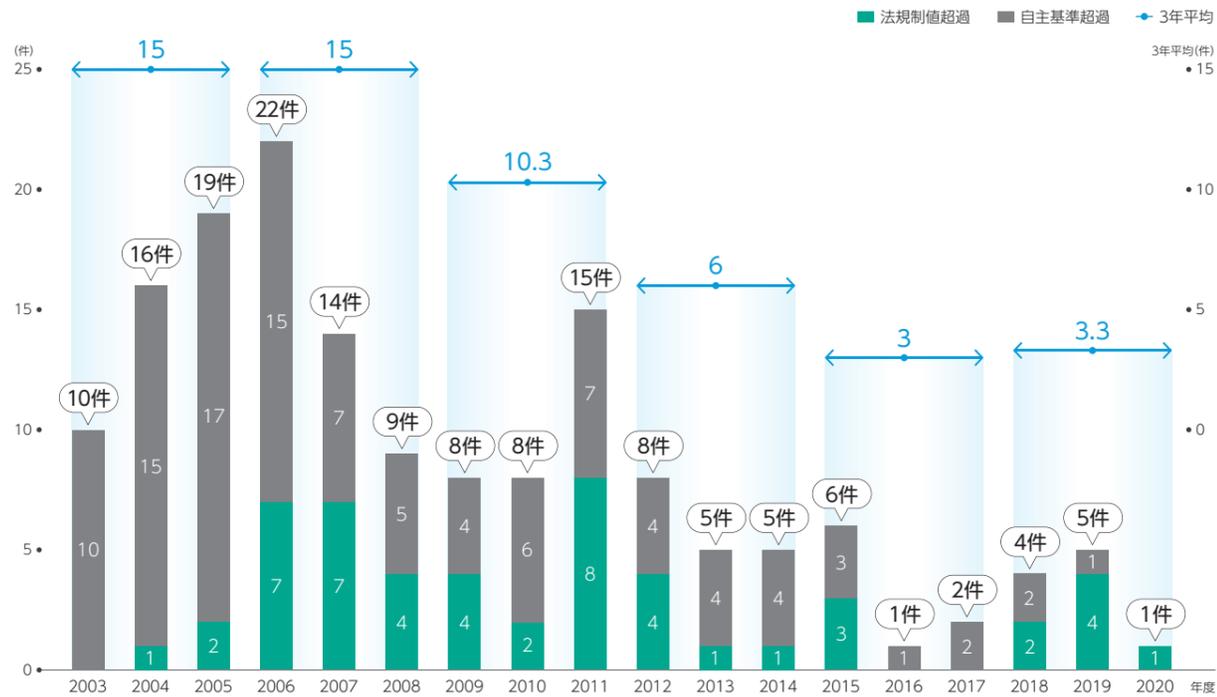
産廃 産業廃棄物の削減

産業廃棄物の削減については、地球環境を守る(➡P18)をご参照ください。

環境異常対策の歴史

田中貴金属グループでは、水質汚濁、大気汚染などを未然に防止するため、法規制値よりもさらに厳しい社内自主基準値を設定しています。この自主基準値を超過した場合を「環境異常」と定義しており、さまざまな未然防止活動・再発防止対策を行っています。

●環境異常発生件数(2003年度～2020年度)



2003年度からの環境異常発生件数の推移をみると、長期的に減少してきていることがわかります。2020年度は、過去最少となる1件でした。

●主な社内ルール

項目	内容
通常管理	自主基準値管理 法基準の50%を自主基準値として設定
異常対応	環境異常速報 異常事態が発生した際の早期情報伝達(原因分析と対策は環境専門部会で確認)
	通報・届出基準 異常発生時における関係行政への通報・届出に関する基準

※環境異常の定義：法規制違反、自主基準値オーバー、近隣クレーム、場内で収まった軽微な事故等

「環境異常(社内管理値超過など)」発生時には迅速に対応するとともに、原因の把握と再発防止に努めています。社内では「環境異常速報」による情報伝達を、関係行政当局へは「通報・届出基準」に基づく報告を行っています。

過去の主な環境異常対策

- 1964 ・環境自主基準値50%(水質)の運用開始
- 1974 ・環境自主基準値規程化
- 1985 ・中央安全衛生環境委員会(環境専門部会の前身)が発足
・各工場・事業所に環境管理者設置
・災害・環境異常・HH速報開始
- 1994 ・安全衛生環境実績月報開始
- 1999 ・環境基本方針制定
・田中電子工業(株)佐賀本社工場ISO14001認証取得(グループで初)
- 2000 ・中央安全衛生委員会と中央環境会議を分離・独立
- 2003 ・環境自主基準値拡大(大気50%、騒音▲2db)
- 2006 ・騒音に関する全社一斉点検実施
- 2011 ・SHE推進室設置
・中央SHE委員会、SHE推進室長会議開始
- 2013 ・田中貴金属工業(株)筑波工場ISO14001認証取得(全拠点完了)
- 2014 ・環境SA/RA着手
- 2015 ・環境法監視開始
- 2016 ・社内専門家による巡視検討
- 2018 ・環境異常データベース整理
- 2019 ・環境専門部会メンバーによる工場巡視開始

青字:未然防止活動 緑字:再発防止対策

環境異常対策として特筆すべき点は、環境自主基準値(水質)を法規制値の50%に設定したのが1964年であることです。一般的には法規制値の70%や80%を自主基準値としている企業が多い中で、当社は50年以上一度も緩めることなく自主基準値の運用を継続しています。

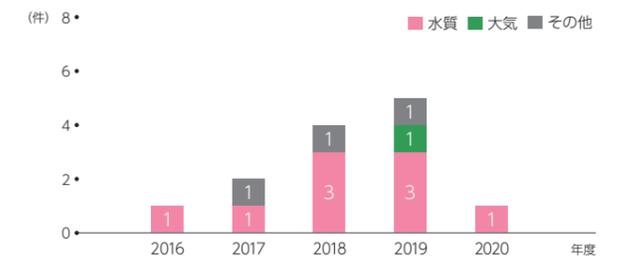
当然ながら、国の法令や自治体の条例が変わって法規制値が下がった場合には、自主基準値もさらに厳しい数値となり各工場・事業所での管理も大変になります。ただ、50%という厳しい自主基準値であるにもかかわらず、環境異常の発生件数は減少傾向にあります。

こうした厳しい環境異常対策は先人たちが脈々と受け継がれ、当社の企業文化ともなっています。この高い環境保全意識を次の世代、そして創業200年となる2085年の未来のTANAKA社員へとつなげてまいります。

環境異常撲滅活動

2020年度は、環境異常が1件発生しました。対策を実施し再発防止に努めています。

●環境異常発生件数

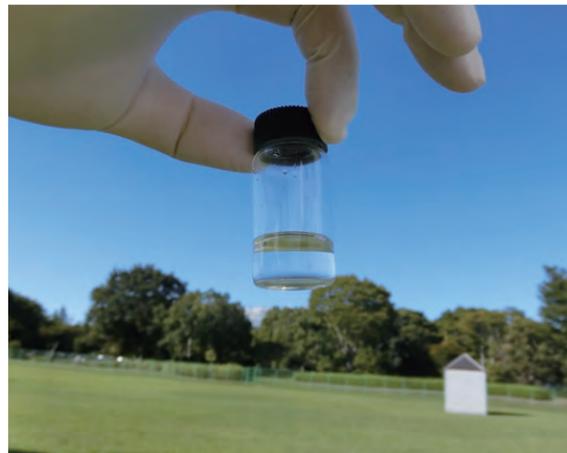


研究開発

田中貴金属グループにとって、研究開発は価値創造の源泉です。広い視野をもって貴金属の可能性を追求し、より豊かな社会、そして美しい地球への扉を着実に開き続けています。

次世代半導体に向けた 高純度貴金属プリカーサーの開発

田中貴金属工業ではルテニウムをはじめとする各種貴金属プリカーサーの開発に取り組んでおり、分子構造の小型化・最適化を行うことで、これまでの液体ルテニウムプリカーサーに比べて蒸気圧を100倍以上に高めたCVD・ALD用プリカーサー「TRuST(トラスト)」を開発しました。本開発にあたり、プリカーサーの設計・合成を当社が、成膜特性の最適化のための研究を韓国の嶺南大学校工科大学新素材工学科のSOO-HYUN, KIM教授が担当しました。本プリカーサーにより、スマートフォン、PC、データセンター等で使用される半導体の高性能化・省電力化に貢献します。



プリカーサー

トピック 「令和2年度 触媒工業協会技術賞」を受賞 ～水素酸化処理や水素インフラに貢献する 「疎水性貴金属触媒の開発」が評価～

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構との共同研究による「疎水性貴金属触媒の開発」が、一般社団法人触媒工業協会より「令和2年度触媒工業協会技術賞」を受賞しました。

当触媒を使用することによって、水素や可燃性ガスを酸化処理する際に加熱ヒーターなどが不要となり、屋外で電源がとれない環境や、災害停電時においても処理を行えるようになります。疎水性という特徴を活かし、爆発災害などを未然に防ぐための安全設備への適用が可能と考えており、特に水素エネルギー社会におけるインフラ構築での活用を期待しています。



疎水性貴金属触媒

トピック 「令和元年度FCDIC顕彰制度 産業貢献賞」を受賞

一般社団法人燃料電池開発情報センター(以下、FCDIC)による、「令和元年度FCDIC顕彰制度産業貢献賞」を受賞しました。

FCDICの表彰制度は、創立30周年記念事業の一環として平成28年度に制定されました。燃料電池の開発・関連産業の振興を推進、および、燃料電池に関連する科学、技術の進歩・発展に顕著な貢献をした団体や個人に対し、「産業貢献賞」、「学術賞」、「奨励賞」、「特別功績賞」として表彰することで、燃料電池の技術開発および燃料電池システムの導入・普及促進に寄与することを目的とするものです。

田中貴金属工業の長年にわたる、「燃料電池用触媒分野における産業界への貢献」が評価され、このたびの受賞に至りました。今後も、カーボンニュートラルのキーとなる水素利用技術に貢献する製品を提供します。



燃料電池用電極触媒

知的財産権の創出と保護

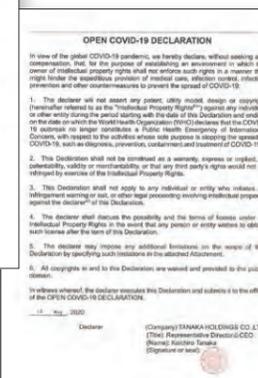
特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権等の知的財産権およびノウハウは、企業の重要な財産であるとの認識のもとに、積極的な創出に努めています。新技術の研究、製品・商品の開発、生産および販売にあたっては、第三者の知的財産権を尊重し、侵害行為に対しては各国の法令に則って厳正に対処しています。また、知的財産意識向上のため、技術部門を中心に年間を通して特許教育を実施しています。

知的財産に関する 新型コロナウイルス感染症対策支援宣言

COVID-19対策支援宣言は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とし、賛同者が国内外で保有する知的財産権を行使しない旨の宣言をするものです。当社は本宣言に則り、新型コロナウイルス感染症の早期終結に貢献してまいります。



COVID-19と
戦う知財宣言



品質と信頼

「良い物」をお客様にお届けすることが、田中貴金属グループの信条です。製品自体の品質はもちろん、製品をつくる過程で人権、環境、安全・衛生、倫理などにも配慮しています。

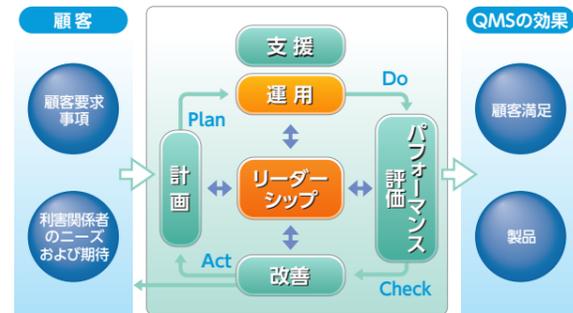


品質マネジメントシステムの構築

田中貴金属グループの全工場で、ISO9001に基づく品質マネジメントシステム(QMS)を構築し運用しています。

お客様からの多様な要求品質に対して迅速に対応し、満足いただける安心で安全な製品を継続的に提供するため、QMSの有効性をレビューするとともに、自動車業界向けQMSであるIATF16949の要求事項を反映させるなど、システムの改善に取り組んでいます。

●品質マネジメントシステムの体系図



顧客満足度調査

田中貴金属グループでは2016年度より「顧客満足度調査」を実施しています。本調査は、国内外の産業用ビジネスのお客様より毎年アンケートにご回答いただくことで当社に対する真のご要望やご不満を把握し、さまざまな改善に役立てることを目的としています。アンケートの回答を数値化しており、2020年度は134社(国内103社、海外31社)のお客様よりご回答をいただき、平均は75.6点でした。当年度はコロナ禍により顧客訪問が制限されましたが、WEBを使用した面談にて情報交換は行われている旨の回答が目立ちました。2016年度の開始時は61.2点だったので、着実に向上しています。今後もお客様の満足度向上に向けてさまざまな改善を進めます。

お客様にご満足いただけるCSR外部評価

○RBA※1監査

田中貴金属グループでは、RBA行動規範に沿った「田中貴金属グループ行動憲章・行動規範」を策定し、役職員一人ひとりが日常業務の中で、人権、環境、安全・衛生、倫理などの社会的責任を果たすことを定めています。2020年度も、複数の国内外工場がRBA認定第三者機関による監査やお客様直接の監査により、RBA行動規範遵守状況の評価を受けました。

○EcoVadis※2認証

EcoVadisによる全社CSR評価(環境、労働と人権、倫理、持続可能な資材調達)を受け、2020年度もシルバー認証を継続取得しました。

※1 RBA(Responsible Business Alliance責任ある企業同盟): 電子・電機業界のグローバル有力企業を中心に運営するCSR推進組織。企業が遵守すべきCSR規範を、具体的にRBA行動規範として定めている。
 ※2 EcoVadis: 世界160カ国、200業種、6万5000以上の団体・企業の評価を行っているCSR評価機関で、プラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズ、評価なしの5段階の評価ランクがある。

●取引先様への審査

取引のグローバル化に伴うリスクに対応するため、人権侵害、テロリストへの資金供与、マネーロンダリング、不正取引、紛争への加担、環境破壊などの排除、制裁対象先や反社会的勢力との取引回避といった観点から、取引先様の厳正な審査を行っています。

顧客からの評価

お客様の生産活動を支える田中貴金属グループの取り組みは、さまざまなお客様から表彰などの形で評価をいただいています。

【2020年度】お客様からの主な表彰

カンパニー	お客様名	受賞名	表彰を受けた理由
化学回収	株式会社キャタラー	品質賞	不具合件数ゼロ件達成により品質に貢献
半導体(TEC)	紫光宏茂微电子(上海)有限公司 Unimos Microelectronics (Shanghai) Co.,Ltd.	PARTNER OF THE YEAR 2020	総合的な評価(品質、価格、納期)
AuAg 化学回収	HIC HYUNDAM IND Co.,Ltd. HYUNDAM産業技術研究所	感謝牌	これまでの功績と感謝

サプライチェーン・マネジメント

○責任ある鉱物調達への取り組み

田中貴金属工業(株)では、「責任ある鉱物管理方針」※1を制定し、いわゆる紛争鉱物(金、タンタル、タングステン、すず)やコバルトなどの原材料鉱物の調達において、児童労働をはじめとする人権侵害、テロリストへの資金供与、マネーロンダリング、不正取引、紛争への加担、環境破壊などの排除を推進しています。

○LBMA※2およびLPPM※3レスポンシブル認証の取得

白金、金、銀、パラジウムについては、LBMAおよびLPPMレスポンシブルガイドラインに基づくデューデリジェンスを行い、指定第三者機関による監査を受け、毎年認証を取得しています。

○調達先様への働きかけ

主要な調達先様に対して「RBA行動規範」の遵守をお願いするとともに、CSRセルフアセスメントの実施をお願いしています。事業への影響が大きくリスクが高いと判断した調達先様には、訪問調査も行っています。2020年度は約150社に対してCSRセルフアセスメントを依頼し、重大な問題を特定した調達先様はありませんでした。

業界団体であるJEITA(電子情報技術産業協会)の「CSR委員会」教育・啓発タスクフォースにメンバーとして参加し、調達先様への「責任ある企業行動ガイドライン」教育資料の作成に携わりました。2020年7月の説明会には主要調達先様に参加いただきました。



LBMA レスポンシブル・ゴールド認証



LBMA レスポンシブル・シルバー認証



LPPMレスポンシブル・プラチナ・パラジウム認証

※1 https://www.tanaka.co.jp/sourcing_policy/
 ※2 LBMA:ロンドン地金市場協会
 ※3 LPPM:ロンドン・プラチナ・パラジウム市場協会



信頼を
築き続ける

地球環境を守る

美しい地球を未来へ継承することは、国際社会共通の課題であり、大きな挑戦でもあります。田中貴金属グループは、事業活動による環境への負荷を最小化するために、あらゆる可能性を追求しています。

環境マネジメントシステム

国内全生産拠点で環境マネジメントシステム[ISO 14001]の認証を取得し、環境保全活動を実施しています。特に、CO₂排出量削減(地球温暖化の防止)、産業廃棄物排出量削減(循環型社会の形成)、環境異常撲滅活動(汚染の予防)については、グループ全体の目標を定め積極的に取り組んでいます。

環境保全活動を着実かつ円滑に推進するために、各工場・事業所長で構成される中央環境委員会を最上位としたグループ組織体制を構築しています。また、SHE※推進室長会議、環境管理者で構成される環境専門部会を定期的に開催し、情報共有および積極的な意見交換を重ねています。

※SHEは、「安全、衛生、環境」の略です。

●環境保全推進体制



●ISO14001認証取得事業所一覧

(取得年月)

事業所名	取得年月
田中貴金属工業株式会社	
湘南工場	2000年 10月
市川工場	2002年 5月
テクニカルセンター	2002年 5月
平塚工場	2002年 10月
岩手工場	2005年 1月
伊勢原工場	2005年 3月
富岡工場	2005年 3月
筑波工場	2013年 12月
台湾田中貴金属工業股份有限公司	2010年 5月
田中先端有色金属材料(寧波)有限公司	2019年 1月
田中電子工業株式会社 佐賀本社工場	1999年 8月
田中エレクトロニクス・マレーシア	1999年 6月
田中エレクトロニクス・シンガポール	1999年 12月
田中電子(杭州)有限公司	2005年 2月
台湾田中電子股份有限公司	2013年 3月
日本エレクトロプレイング・エンジニアーズ株式会社	2000年 11月

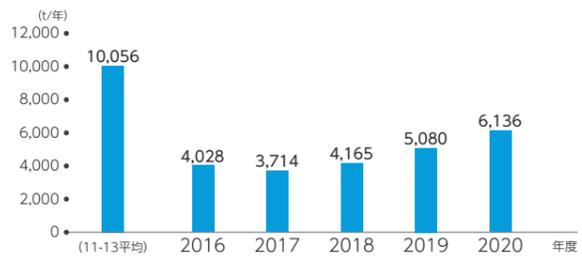
廃棄物削減の取り組み

田中貴金属グループでは、産業廃棄物排出量を毎年1%削減する目標を定めています。

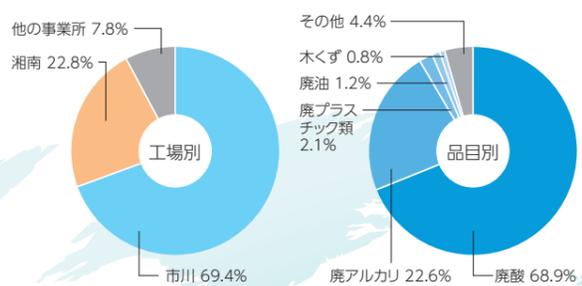
2020年度は前年度比1%削減の5,029tの目標に対して、実績は20.8%増の6,136tで未達となりました。事業拡大に伴う廃棄物の発生を抑制できるよう、さらなる対策を進めます。

●全社目標 産業廃棄物排出量を毎年1%削減

●産業廃棄物排出量の推移



●産業廃棄物排出量の内訳(2020年度)



地球温暖化防止の取り組み

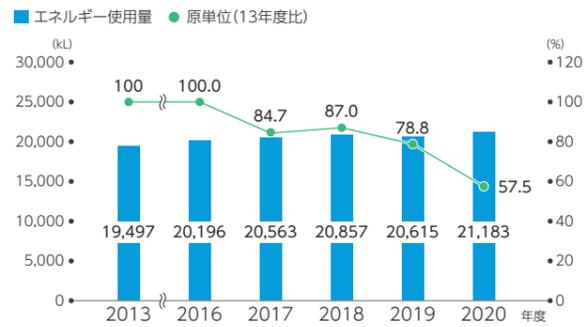
田中貴金属グループでは、省エネ法に準拠するためエネルギー原単位を毎年1%改善する目標を定めています。

好調な事業環境を反映して、エネルギー使用量は前年度比2.8%増、CO₂排出量は0.6%増となりましたが、原単位は前年度比27%減(2013年度比57.5%)と大幅に改善しました。

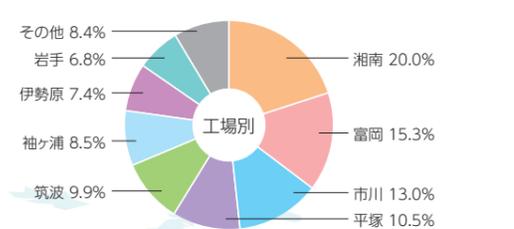
今後もさまざまな機器の効率化や運用改善等の省エネ活動を強化します。

●全社目標 エネルギー原単位を毎年1%改善

●エネルギー使用量、原単位の推移



●エネルギー使用量の内訳(2020年度)



●CO₂排出量の推移



トピック

2工場の省エネ活動が先進事例として紹介されました

一般財団法人省エネルギーセンターが主催する「令和2年度 省エネ診断・技術事例発表会」において、田中貴金属工業(株) 富岡工場と田中電子工業(株) 佐賀本社工場の省エネ活動が先進事例として動画で紹介されました。動画では、電力監視システムの導入や機器更新の他、省エネ活動の推進体制などを両工場の担当者が解説しました。

<https://www.shindan-net.jp/seminar-online/>



※動画の公開期間は終了しています

○太陽光発電の導入

2020年1月より、田中貴金属工業(株) 平塚工場で太陽光発電の稼働を開始しました。工場全体のエネルギー使用量に対して3%の削減効果を見込んでいます。

当社グループの太陽光発電導入事業所は6拠点となりました。今後も計画的に導入を進めます。



平塚工場屋上

工場名	導入年度	エネルギー削減効果
田中電子工業(株) 佐賀本社工場	2006年度	4%
田中貴金属工業(株) 富岡工場	2007年度	1%
田中貴金属工業(株) 湘南工場	2016年度	1%
田中貴金属工業(株) 伊勢原工場	2017年度	4%
田中貴金属工業(株) 筑波事業所	2017年度	4%
田中貴金属工業(株) 平塚工場	2019年度	3%

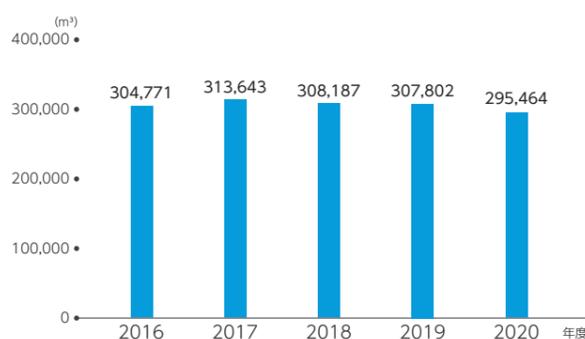
地球環境を守る

水使用量の削減

世界的に水不足への懸念が高まっており、事業活動における水使用量の削減に努めています。

グループ全体の水使用量としては、2017年度をピークに減少傾向が続いています。使用量を工場別にみると、湘

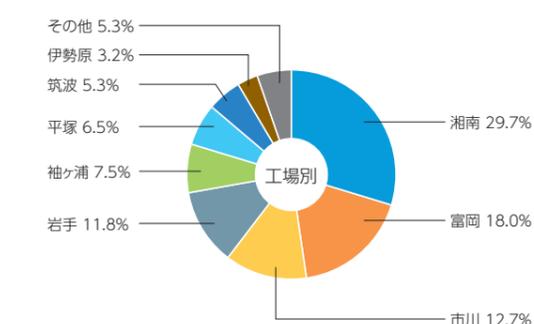
●水使用量の推移



南工場、富岡工場で全体の約半分を占めています。

今後も排水処理による自工場内での水リサイクルやプロセス改善などにより、水資源の有効活用を努めます。

●水使用量の内訳(2020年度)



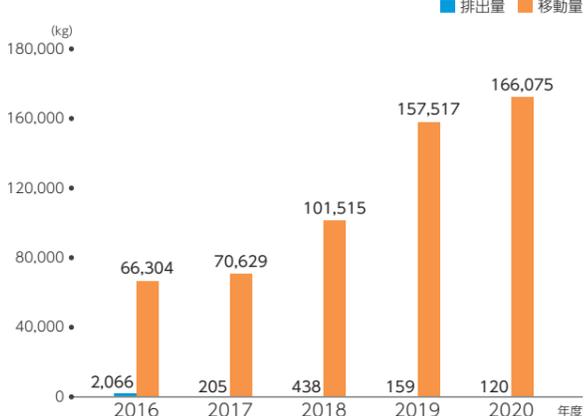
環境汚染の防止

「特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律(PRTR※法)」に基づく対象物質について、環境への排出量および事業所外への移動量を国に届け出ています。

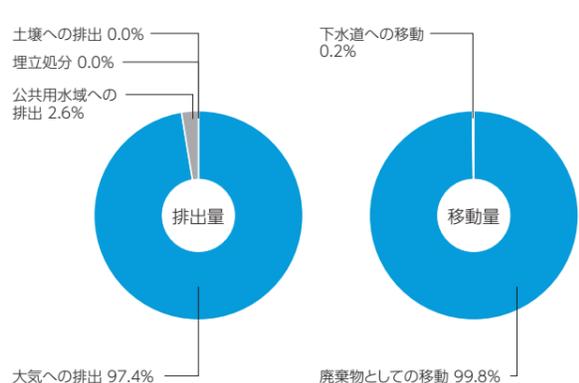
今後も環境汚染を防止するため、事業活動における化学物質の適切な管理に努めます。

※ PRTR Pollutant Release and Transfer Register (化学物質排出移動量届出制度)

●PRTR対象物質の全排出量・移動量



●PRTR対象物質の内訳(2020年度)



生物多様性保全

田中貴金属グループでは、NPO法人鶴見川流域ネットワーク(神奈川県横浜市、岸由二代表)が2019年4月より開始した「花さくいるか丘陵プロジェクト」を支援しています。いるか丘陵とは、高尾山の東方から町田、川崎、横浜、横須賀、三浦半島までの多摩三浦丘陵地帯が「いるか」の形に似ていることから岸代表が名付けました。

同プロジェクトでは、花粉症の原因となる外来種の「ネズミホソムギ」等に覆われて除草などの定常的な作業が必要な場所に、代替可能でかつ軽度な管理で維持できる魅力的な在来植物(ハナウド、ヤブカンゾウ、ノカンゾウ、ハマカンゾウなど)を転植し、安全で生物多様性豊かな多自然ビオトープを創出することをめざしています。ハナウドは4月から5月、カンゾウ類は、7月から9月にかけて美しい花を咲かせるとともに、ハナウドはキアゲハの幼虫を育て、カンゾウ類の花にはジャコウアゲハなどのさまざまなアゲハ類が訪れて吸蜜します。

当社では、いるか丘陵の3か所で本プロジェクトを支援しています。



場所	実施内容	今後の計画
① 鶴見川源流丸池(東京都町田市)	2020年3月にヤブカンゾウ500株を移植	2021年:1千株 2023年:4千株
② 綱島バラ島(神奈川県横浜市)	2019年11月にノカンゾウ500株を移植	2021年:2千株 2023年:1万株
③ 小網代臨海地B区(神奈川県三浦市)	2020年3月にハマカンゾウ200株を移植	2021年:5百株 2023年:2千株



従業員の自宅でノカンゾウを育成

例年実施していたエコツアーがコロナウイルスの影響で開催できなくなったことから、従業員が自宅でも参加できる活動としてノカンゾウの育成を開始しました。

希望する従業員の自宅へ鶴見川流域ネットワークよりノカンゾウの株を郵送していただき、1年間育てて増えた株を2020年12月に返送しました。返送した株をNPOにて植えていただき、2021年夏には河川敷一面に綺麗な花が咲きました。

今後も従業員宅でのノカンゾウ育成を継続し、コロナウイルスが収まれば現地での返還式を行う予定です。



トピック

「水マス推進サポーター」に認定されました

当社の生物多様性保全活動が評価され、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所より「令和2年度水マス推進サポーター」に認定されました。

水マス推進サポーターとは?

平成16年8月に鶴見川流域水協議会(国土交通省、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、町田市、稲城市)によって「鶴見川流域水マスタープラン(通称:水マス)」が策定されました。この水マスのビジョンにそって「流域貢献活動(流域CSR活動)」を行っている団体・企業を「水マス推進サポーター」として認定しています。



地域・社会への貢献

田中貴金属グループは、事業活動を通じてご縁が生まれる地域や国がより健やかで豊かになるように、自らができる貢献をめざしています。会社としての支援、従業員によるボランティアの両面から、継続性を大切にする活動を各地で展開しています。



スポーツ振興

東京2020オフィシャルサポーター

TANAKAホールディングス(株)は、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と東京2020スポンサーシッププログラムの「貴金属・宝飾品」カテゴリにおける「東京2020オフィシャルサポーター」契約を締結しています。



「東京都スポーツ推進企業」の認定

TANAKAホールディングス(株)は、各種スポーツ大会への協賛のほか、新型コロナウイルスの感染拡大により求められる新しい日常下でも、各種スポーツ大会の観戦をオンライン観戦へ変更するなどして、スポーツを通じた従業員同士の交流や健康づくりを推進しています。

また、2012年に日本障がい者スポーツ協会(JPSA)のオフィシャルパートナーとなり、2017年からは日本ブラインドサッカー協会(JBFA)とブラインドサッカー女子日本代表への協賛も行っています。

このような活動が評価され、2015年度より6年連続で東京都より「東京都スポーツ推進企業」に、認定されています。



障がい者スポーツへの支援・参加

田中貴金属グループが協賛する日本障がい者スポーツ協会や日本ブラインドサッカー協会主催の大会が、コロナ禍で無観客試合となったため、オンライン観戦を実施しました。また、2021年5月30日から6月5日に開催されたブラインドサッカーの国際大会「Santen IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2021 in 品川」では、カテゴリースポンサーとして式典・セレモニーの運営に協賛し、チーム・選手に授与されるメダル、トロフィー、表彰盾を提供しました。

今後もさまざまな機会を通して、障がい者スポーツの理解促進につながる活動を進めていきます。



提供 日本ブラインドサッカー協会/髭部春雄

人財育成

田中貴金属記念財団

○貴金属に関わる研究助成金

本制度は、貴金属が貢献する新しい技術や研究・開発を支援するため、1999年度から毎年実施しています。22回目となる今回は、合計171件の応募があり、26件の研究に対し総額1,610万円の研究助成金を給付しました。

●ゴールド賞 各200万円 2件

表面プロトニクスを活かした非在来型低温作動の貴金属触媒反応の開拓と応用

早稲田大学 教授 関根 泰 様

耐酸化特性を有するIr系高エントロピー合金の開発

早稲田大学 教授 村上 秀之 様

○奨学金制度

2018年度より学術、技術ならびに社会経済の発展に寄与することを目的にスタートしました。2020年度も東北大学の理工系学部と理工系研究科の3名の学生を対象に給付しました。

本年度は、学生の皆さんと直接面談ではなくweb環境を利用した面談にて交流を行いました。

今後も、さまざまな方法で奨学生の皆様とのつながりを大切にしていきます。

「高専ロボコン」協賛

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト(高専ロボコン)は、高専の学生たちが既存概念にとらわれず「自らの頭で考え、自らの手でロボットを作る」ことでモノ造りの面白さを体験するイベントです。全国57校62キャンパスの高専生が8地区で予選を戦い、勝ち残った25チームが東京での全国大会に進みます。

田中貴金属グループは、若き技術者のモノ造りを応援するために、2012年から「高専ロボコン」に協賛しています。

今年度は、新型コロナウイルス対応のためオンラインによる開催となりました。



主な活動

寄付・募金活動

人安基金からちまきやサツマイモを購入しシングルマザーを助ける活動に参加しました。
台湾田中電子股份有限公司 2020年4月~8月 延べ106名参加 NT\$12,480

寄付・募金活動

ボランティア団体「ひばり野のなかま達」を通して子供食堂へ非常食330食を提供しました。
田中貴金属工業(株)平塚工場

寄付・募金活動

各工場・事業所ではさまざまな寄付・募金活動を行っています。
田中貴金属工業(株)平塚工場・名古屋支店、田中貴金属ジュエリー(株)、田中エレクトロニクス・マレーシア Sdn. Bhd.、田中エレクトロニクス・シンガポール Pte. Ltd.、台湾田中電子股份有限公司、田中電子(杭州)有限公司

地域清掃活動

各工場・事業所では工場および周辺などの清掃活動を定期的に行っています。
田中貴金属工業(株)富岡工場・湘南工場・筑波事業所、田中電子工業(株)佐賀本工場、田中貴金属ジュエリー(株)新宿店、田中エレクトロニクス・シンガポール Pte. Ltd.、田中電子(杭州)有限公司



その他の活動はホームページから <https://www.tanaka.co.jp/about/csr/communication.html>

一人ひとりの活躍

多様性を増す従業員一人ひとりが輝ける職場環境づくりは、田中貴金属グループの将来にとって欠かせません。すべての従業員が活躍できるよう、さまざまな切り口から職場環境の整備に取り組んでいます。



働き方・休み方改革と多様な従業員の活躍

田中貴金属グループでは、多様な従業員がそれぞれ生き生きと働ける職場環境づくりをめざしています。その一環として、働き方や休み方の見直しと改善に、複合的なアプローチで取り組んでいます。

年次有給休暇

2019年4月から施行された「働き方改革関連法」に対応するため「年次有給休暇5日以上取得」を2018年度からグループ全体で取り組んでいます。2020年度における年次有給休暇5日以上取得は対象者全員が達成しました。

国内	2019	2020
年次有給休暇(5日以上)取得率	100%	100%
年次有給休暇平均取得日数	12.9日	14.0日
(製造部門)	12.2日	14.0日
(間接部門)	14.5日	14.0日
平均残業時間	14.34時間	13.40時間
平均勤続年数 男性	13.9年	14.5年
平均勤続年数 女性	12.1年	12.7年
介護休暇	1名	3名
介護短時間勤務	1名	1名

介護と仕事の両立支援

従業員が介護と仕事を両立できる職場環境の整備のため、さまざまな取り組みを実施しています。

1. 法定を超える制度

【介護休業】 要介護状態にある家族1人につき365日取得可能です。

【介護短時間勤務】 勤務時間は原則6時間、本人の希望により5時間まで短縮可能です。

2. 相談窓口の設置

社内外に相談窓口を設置し、介護に関する従業員の相談に対応しています。

3. 従業員への情報提供

従業員が介護に直面する前から介護に関する情報を得られるよう、年齢別研修での冊子の配付や社内イントラネットでの情報提供を実施しています。



トピック

くるとん認定取得(田中貴金属グループ4社)

「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣から認定を受けました。

次世代育成支援対策推進法に基づき、行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し一定の基準を満たした企業が認定されます。引き続き、くるとん認定継続に向けて取り組んでいきます。

認定会社：TANAKAホールディングス(株) / 田中電子工業(株) / 日本エレクトロプレイング・エンジニアーズ(株) / 田中貴金属ジュエリー(株) / 田中貴金属工業(株)は、現在認定に向けて取り組んでいます。



子育てと仕事の両立支援

従業員が子育てと仕事を両立できる職場環境を整備するため、法令で定められている以上にさまざまな取り組みを行っています。今後も働き方改革とワークライフバランスの観点から、従業員の子育てと仕事の両立支援に取り組めます。

1. 法定を超える制度

【配偶者出産時の特別有給休暇】

配偶者が出産した場合、入院・退院・届出に充てるため、特別有給休暇を3日間取得することが可能です。

【育児休業】

原則1歳6か月(条件を満たした場合は最長2歳)まで取得可能です。

【育児短時間勤務】

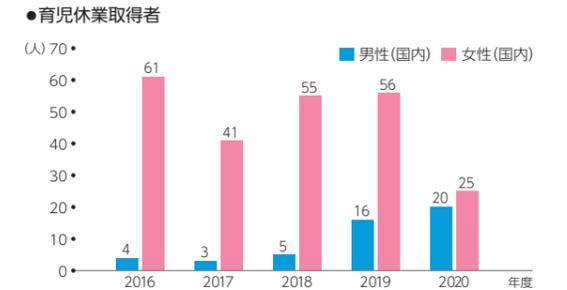
小学2年生の4月15日まで適用可能です。勤務時間は原則6時間、本人の希望により5時間まで短縮可能です。

【子の看護休暇】

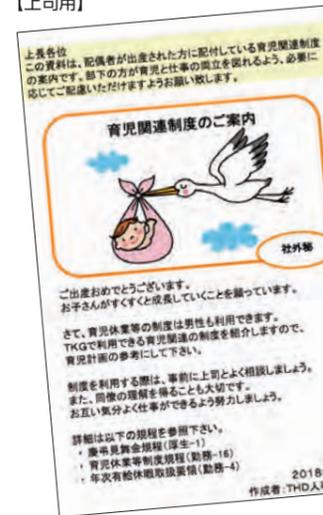
小学2年生の4月15日まで取得可能です。

2. 男性の育児休業等取得促進

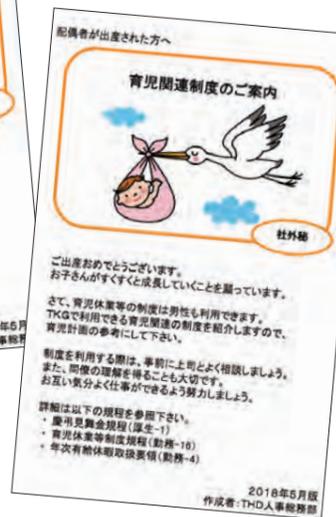
配偶者が出産した従業員とその上司へのリーフレット配付や、役職者研修での冊子の配付を通じて、育児に関連する会社制度の周知および制度を利用しやすい雰囲気づくりに取り組んでいます。男性の育児休業取得者は2016年度以降増加傾向となっています。2020年度には過去最多の20人が育児休業を取得するなど、取り組みの成果が少しずつ表れています。今後も従業員の子育てと仕事の両立支援に向けた取り組みを拡充します。



【上司用】



【本人用】



上司用リーフレットには、本人の希望に応じた制度利用を促す記載があります。

【役職者研修用冊子】



障がい者雇用

障がい者雇用を強化するために、障がい者採用イベントへの定期的な参加のほか、各工場・事業所では地域の養護学校から職業実習の受け入れを積極的に行っています。また、採用した方には職場適用援助制度(ジョブコーチ制度)を活用して就労の定着を図っています。

さらに2020年度下期から障がい者雇用の専任者を配置し、採用後のフォローアップを強化するとともに、法定雇用率の達成および定着化に取り組んでいます。

定年退職者の再雇用

高齢者雇用安定法に基づき、62歳の定年を迎えた従業員が引き続き勤務を希望した場合、継続して勤務することができます。再雇用契約の期間は原則1年間とし、会社と従業員の双方の合意によって契約を更新します。再雇用の限度年齢は原則65歳としています。

人材育成

田中貴金属グループでは、従業員一人ひとりの成長が組織全体の活性化につながるよう、新入社員から役職者まで体系的な教育プログラムに沿って計画的な人材育成を行っています。全部門共通研修である「ジャンプアップ35セミナー」「バイタル45セミナー」はこれまでの自身のキャリアを振り返るとともに、今後の目標を策定することでさらなる飛躍・活躍をめざす研修です。同時に当社グループの同年齢の従業員が一堂に会することから新卒入社・中途入社にかかわらず横のつながりを醸成できる場でもあり、お互いに刺激し合うよい機会になります。また、貴金属の知識や技術向上のための「貴金属基礎・技術基礎教育」や「QCとQE講座」も開講しています。また、マネジメント力強化、職場でのコミュニケーション力強化のため、役職者に対して「マネジメント研修」を行っています。研修は初級・中級・上級に分類し、役職に応じたカリキュラムとしています。2020年度にはすべての役職者の受講が完了し、内容を見直すとともに、受講者も二巡目に突入しています。

●教育プログラム

新入社員(1年目)	入社2~5年目	中堅・ベテラン	62歳定年
義務教育期間		管理者研修 マネジメント研修(初級) マネジメント研修(中級) マネジメント研修(上級) 准経営管理職研修 経営幹部研修(ビジネススクール) 新任取締役・新任執行役員研修 取締役・執行役員研修 新任社長研修	
全部門共通研修 導入研修 フォローアップ研修	若手キャリアアップ研修 エルター研修	35歳 ジャンプアップ35セミナー 40歳 リフレッシュ休暇 45歳 バイタル45セミナー 50歳 リフレッシュ休暇 55歳 GO-GOセミナー 60歳 リフレッシュ休暇	
各部門教育 技術生産系 品質工学基礎編 分析基礎講座	2年目:特許入門 3年目:特許実践・貴金属基礎・技術基礎教育 4年目:特許応用・技術基礎教育 5年目:QCとQE講座	技術者養成講座 ・社内講師として指導 ・特許戦略/事業化Pro./博士号取得/海外留学など	
入門講座・初級クラス		モノ造り大学 中級クラス	熟達伝承クラス
OJT(Job Trainer・Elder)/OFF-JT/通信教育・e-ラーニング/資格取得			

メンタルヘルス

従業員の心の健康管理を重要事項と捉え、人間関係を含む職場環境改善を進めるとともに、メンタル不調者の早期発見等幅広い取り組みを行っています。

○相談窓口

主な事業所の健康管理室に看護職が常駐しており、従業員は心身の健康相談ができます。また、電話やメールによる相談窓口を外部に設置し、従業員とその家族も利用することができます。従業員が個別に面談やカウンセリングを受けることも可能です。

○ストレスチェック

2016年度より全従業員を対象にストレスチェックを実施しています。従業員が自身の心の状態を確認するとともに、集団分析によって職場ごとに健康総合リスク評価を行い職場環境の改善につなげています。具体的には、職場のコミュニケーション向上を目的としたアサーション実践プログラムを実施しています。2020年度のストレスチェック受検率は91.5%でした。

CSR通信

CSR活動の社内コミュニケーションツールとして2012年4月より毎日発行してきたCSR通信は、新型コロナウイルス感染拡大のため、3か月間の休刊、発行頻度を下げたの発行を経て、2021年4月からは従来通り毎日発行し、現在は2000号を超えています。ISO26000の中核主題に沿った「組織統治」「人権」「環境」「労働慣行」「コミュニティへの参画」などのテーマごとにCSR推進部の担当者が分担して作成しています。CSR推進部から各工場・事業所の各部門に毎日メール配信し、各部門では職場の掲示板や食堂などに掲示しています。2018年にはCSR活動の啓発教育などへ利用できるように、発行済みのCSR通信から抜粋して1冊にまとめたCSR通信活用ブックを作製し、各部門へ配付しました。100号ごとにデータ更新を行い、1000号ごとに冊子の追加・更新を行います。



CSR通信活用ブック

CSR通信を食堂などに掲示

TANAKA NOW



私は現在当社純金積立会員様向けの資産用地金梱包やTKJ直営店・特約店で買い取った資産用地金コインの検品・仕分け業務を担当しています。

私には生まれつき聴覚に障がいがあるため、人の会話や電話・放送はほとんど聞こえませんが、地金の鋳造(再販しないため刻印に傷をつける作業)のような大きな金属音は聞こえます。

幼少期に受けた聴覚口話訓練により話し手の唇の動きを読んだり自分から話すことはできませんが、コロナ禍の今はマスクが外せないため相手の唇の動きが読めずに苦心しています。また、音声が届きにくい職場の皆さんとのコミュニケーションづくりにいつも気をつけており、メールや筆談だけでなく音声変換アプリを使わせていただき業務に支障が出ないようにしています。職場の皆さんにも配慮してもらっているのでも感謝しています。

工場勤務なので、自分一人で行動する時は警報音が鳴っても気づかず逃げ遅れてしまう恐れや、後ろから来るフォークリフトや台車の音も聞こえないため進路妨害や衝突の不安もあります。身の周りで起こりそうなことを推測して行動していますが、推測違いや勘違いも多々あります。バリアフリー設備や工夫をしていつか障がい者も健常者もみんな安心して働ける環境になってほしいと切に願っております。

田中貴金属工業(株) 資材物流部 湘南分室 藤田 成美 (障がい等級:聴覚障がい2級)

より安全な職場環境づくり

安全で、安心して働ける職場環境づくりは、企業にとって最も重要な、かつ奥深い課題です。田中貴金属グループは、お互いに協力できる関係づくりを大切にしながら、従業員の安全と健康の確保に取り組んでいます。

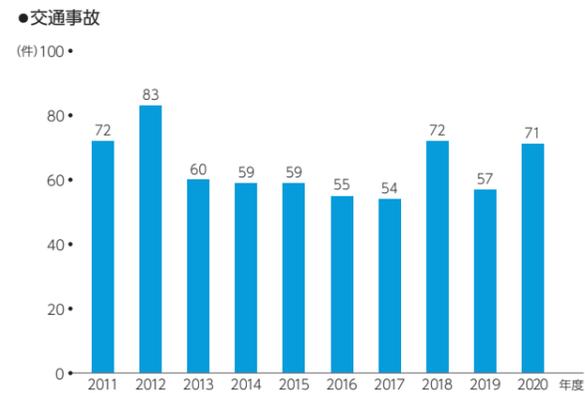
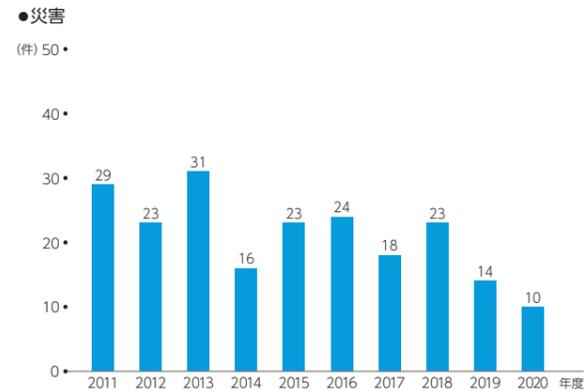
安全活動全般の振り返り

2020年度のありたい姿「相互に協力し、安全・安心・明るい職場を維持している」に向けて、年度方針「安全を最優先し、安心で・明るい職場を確立する」のもと、日々安全活動を進めてきました。

2017年度より毎年行っている「安全対策重点実施活動」では、年度期首に各工場・事業所の個別課題「挟まれ・巻き込まれ」「切れ・こすれ」などに加えて「転倒防止」を共通課題として、主に不安全状態をなくすための対策を実施しました。

2020年度の労働災害発生件数は過去10年間で最少の10件となりました。発生した10件はいずれも主として不安全行動に起因する災害でした。今後もリスクの洗い出しと対策実施を緩めることなく進めます。

一方、交通事故発生件数は71件でした。過去10年間は60件前後で推移しており、追突による被害事故が多く発生しています。



TANAKA NOW

筑波事業所は無災害継続二年を達成することができました。これはひとえに社員一人ひとりの安全意識の高さ、リスクアセスメントや安全巡視による危険の早期発見、対策の賜物だと思えます。

筑波工場のISO45001取得に向けた活動も無災害継続の力となったと感じています。無災害=安全な職場、という図式は必ずしも成り立ちません。現状維持ではなく、さらなる安全な職場づくりに社員全員で取り組んでいきたいと思えます。



田中貴金属工業(株) PGMカンパニー 筑波事業所 安全管理者 笠井 康弘

安全対策重点実施活動の事例紹介

事例 1 共通課題「転倒」

AuAgカンパニー 平塚工場



設備の階段の片方だけに手すりがあり、片手で昇降して、転倒、転落の危険があったため、両側に手すりを設置した。

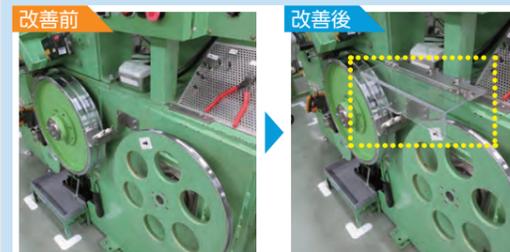
化学回収カンパニー 市川工場



フォークリフト運行路にあるグレーチングの変形により、転倒する危険があったため、耐荷重用グレーチングに交換した。

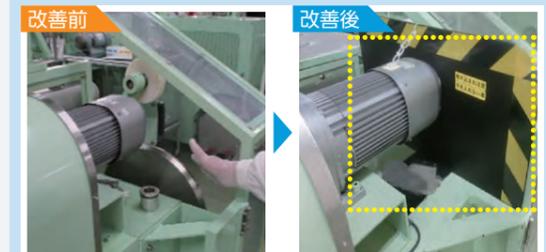
事例 2 個別課題「挟まれ・巻き込まれ」

AuAgカンパニー 岩手工場



キャプスタンロール部に手が入り、巻き込まれの危険があったため、カバーを設置し、手が巻き込まれないようにした。

半導体カンパニー 田中電子工業(株)佐賀本社工場



巻取機の回転部分に手が入り、挟まれ・巻き込まれの危険があったため、カバーを設置し、隙間をなくした。

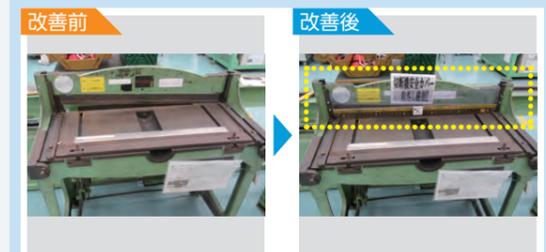
事例 3 個別課題「切れ・こすれ」

PGMカンパニー 伊勢原工場



設備、棚、台車などの運搬具の鋭利な角部で手指を切創する危険があったために、コーナークッションを設置した。

新事業開発統括部 伊勢原テクニカルセンター



足踏み切断機上で材料を取り扱う際、刃先で手指を切創する危険があったため、安全カバーを設置した。

信頼を
築き続ける

より安全な職場環境づくり



信頼を
築き続ける

CSRマネジメント



健康宣言の取り組み

田中貴金属グループでは、従業員とご家族の健康を第一に考え、疾病の予防と健康の保持・増進を進めています。

取り組み方針

- (1)当グループは、社員の健康を経営の重要な原動力と考え、安全と健康を最優先する組織文化の醸成を図っていきます。
- (2)当グループは、社員が「元気で、明るく、前向きに」働く職場環境を整えていきます。
- (3)当グループは、社員と家族の健康の保持・増進、ワーク・ライフ・バランスの実現、生産性の向上、さまざまな社員が活躍できる職場づくりなどを総合的に推進します。

トピック

健康優良企業(銀の認定)更新

2019年8月に取得した「健康優良企業(銀の認定)」は、健康診断受診率100%の継続、健康チャレンジや禁煙キャンペーンにより社員の健康増進の取り組みを継続的に実施した結果を評価いただき更新しています。

また、田中貴金属ジュエリー(株)も2020年11月に認定されました。

トピック

健康経営優良法人2021認定取得

田中貴金属グループ5社※は引き続き「健康経営優良法人2021(大規模法人)」の認定を受けました。



※田中貴金属グループ5社:
TANAKAホールディングス(株)、
田中貴金属工業(株)、田中電子工業(株)、
日本エレクトロプライティング・エンジニアーズ(株)、
田中貴金属ジュエリー(株)

2020年度の取り組み内容

健康診断

新型コロナウイルスの影響により定期健康診断の実施を延期して実施いたしました。2020年も定期健康診断および二次検査の受診率100%を継続しています。

定期健康診断では生活習慣病検診に婦人検診を加えて実施しています。45歳を迎える従業員は夫婦で人間ドックの受診ができます。

健康増進

従業員の健康意識向上のため、さまざまな活動を行っています。

「健康チャレンジ」は、食事・睡眠の改善や体力づくりなど、個人で無理なくできる項目を選択して2か月間実施し、

生活改善を推進します。2020年度は記録をWEB化するとともに、家族も参加できるようにしました。

禁煙の取り組み

2020年4月から国内全事業所において屋内禁煙といたしました。また、喫煙者の禁煙を促進するため、「禁煙外来治療費補助金制度」を制定しました。

「禁煙キャンペーン」を継続的に行って喫煙率の削減を図っています。

●喫煙率の推移
(3年毎の健康意識調査から)



CSRの考え方

CSR<企業の社会的責任>を果たすための活動を、日常業務から遊離した別ものとしてではなく、あくまでも業務の一環としてとらえて、実行することをめざしています。また、社示に示されている全てのステークホルダー<利害関係者>に対する基本的な姿勢は、創業当時より一貫してCSR活動の支えともなっています。例えば、「地金はお金」に象徴される創業以来絶えることなく日常的に継続してきた地金リサイクル(P8-9参照)はまさしく環境負荷低減活動となっています。社会貢献活動(P22-23参照)に代表されるコミュニティへの参画、環境における生物多様性への対応(P21参照)などさらに日常業務へ取り込むべく推進活動を継続しています。

- 社示** 創業以来130年を超えて、品質や生産性、技術力の向上にとどまらず、企業の社会的責任(CSR)を含めた企業活動の全てにわたる基本的な姿勢を「社示」として掲げています。
- 企業理念と行動指針** 「社示」に示された基本姿勢のもと、貴金属業界の先頭に立ち、地球環境保全をはじめとするさまざまな事業継続活動を実行し、「ゆとりある豊かな社会」の実現に向かっていくことを「企業理念」に謳っています。また、「企業理念」を実現するにあたり、日常活動において心がけるべき5つの基本的な行動姿勢を「社示」とともに「行動指針」として掲げています。
- 行動憲章・行動規範** 日々の活動の中で、社会的責任を果たし持続可能な社会に貢献するための企業行動原則を「行動憲章」「行動規範」としました。ISO26000の7つの中核主題に則り、国内法令の遵守にとどまらず、国際的に認められた基準も含めて尊重することを前提として定めています。また、本規範の遵守を管理するための適切なマネジメントシステムを構築しています。

田中貴金属グループ行動憲章	
組織統治 人権 労働慣行 環境 公正な事業慣行 消費者課題 コミュニティへの参画およびコミュニティの発展	説明責任と透明性を伴った、健全な事業活動を推進します。 国籍、人種、性別、年齢、社会的身分、職制・職責等に関するあらゆる差別をなくします。 自由闊達な企業風土の中で、安全を最優先し、最高の仕事に取り組みます。 環境保全を推進し、美しい地球の未来に貢献します。 遵法精神に基づき、健全な事業活動を推進します。 お客様の信頼と期待に応え、心はずむ瞬間(とき)を提供します。 ゆとりある豊かな社会を目指し、地域社会の活性化に貢献します。
田中貴金属グループ行動規範	
人権	1)国籍、人種、民族、肌の色、性別、年齢、宗教、信条、社会的身分、家柄、財産、心身における障がいの有無、政治上の意見等による差別となる行為を一切行いません。 2)児童労働および強制労働を一切行いません。 3)若年労働者には適切な作業環境を提供します。 4)適切な労働時間の管理と賃金の支払いを行います。 5)いやがらせ、侮辱、言葉による虐待、職務上の立場を利用した不当な強要(いわゆるパワーハラスメント)等の行為を一切行いません。 6)相手および周囲の意に反した性的言動等(いわゆるセクシャルハラスメント)の行為を一切行いません。 7)会社や個人に対する誹謗・中傷を行いません。
労働慣行	1)人命尊重を最優先し、労働安全衛生に関する法令を遵守します。 2)安全衛生に関する組織的・継続的な活動の重要性を理解し、積極的な参画を推進します。 3)自己の業務に関わる危険性、心身への有害性を理解し、緊急時への備えを行い、訓練を実施し、事故、災害の未然防止に努めます。 4)従業員の団体交渉および集会への参加の権利を尊重します。 5)従業員に、適切な福利厚生を提供します。
環境	1)環境法規制、地域協定および社内ルールを遵守します。 2)環境に有害な影響を及ぼす化学物質の管理の徹底と削減を推進します。 3)省エネルギー、省資源化を進め、CO ₂ 排出量および廃棄物の削減を推進します。 4)水資源の適切な管理を推進します。 5)「貴金属のリサイクル(再資源化)」に積極的に取り組みます。
公正な事業慣行	1)独占禁止法およびその他の公正競争を維持するための法令を遵守し、公正かつ自由な競争を行います。 2)金品の贈与、接待、寄付金、政治献金の類については、法令および社内ルールに従って適正に行います。 3)贈収賄、汚職、強奪、横領を一切行いません。 4)輸出入する貨物・技術については、国際条約、法令および社内ルールに従って適正かつ必要な手続きをとりまします。 5)優越的な立場を利用した、取引条件の一方的な変更や購入強制等となる行為を行いません。 6)知的財産権を尊重し、侵害しません。 7)反社会的勢力および武装勢力と関係する相手とは一切の取引引きを行いません。 8)他企業との相互協力・信頼関係の構築に貢献します。 9)営業秘密について会社ルールに従って管理・保護を行うとともに、営業秘密を他に漏らさず、開示せず、または無断で使用しません。 10)会社の利益に反する個人の行為・行動等、企業倫理上問題のある行為を行いません。 11)会社の資産(情報、製品、商品、備品、機器、消耗品、知的財産、ブランド等の有形・無形の資産等)を適正に管理し、不正・不当に使用しません。 12)取引関係で入手した未公表の情報に基づくインサイダー取引を行いません。 13)コンプライアンス違反防止のため、社内通報制度を設けるとともに、通報者に不利益が無いよう保護します。
消費者課題	1)製品・商品・サービスに適用されるすべての法令を遵守します。 2)競争法や表示に関する法令等に違反しません。 3)お客様、お取引先、従業員等から入手した個人情報を保護します。 4)広告等においては、実質的、客観的な根拠に基づく表示を行い、虚偽・誇大な広告を行いません。 5)製品の安全性、製品の品質を確保します。 6)製品・商品・サービスの機能、特徴等に関する情報および、正しい使い方、使用・利用上の注意等に関する情報を提供します。 7)企業情報を開示して、経営の透明性を高めるとともに、企業の説明責任を果たします。 8)誠実な営業活動・サービス活動を行います。 9)過大景品付販売や欺瞞的な販売方法を用いません。 10)会社の信用に関わる品質問題が発生した場合には、適正な対応を行います。 11)お客様からの問合せ、苦情に対しては、社内ルールやガイドラインに従って対処し、適切なフィードバックを行い、問題の再発を防止します。 12)利用資源の最少化、再生材料の活用、省エネルギーを図る製品・商品・サービスの開発に積極的に取り組みます。
コミュニティへの参画およびコミュニティの発展	学術研究、教育、環境保全、文化芸術活動、地域社会奉仕等の社会貢献活動を行い、地域社会との調和・共存を図ります。

制定日:2008年11月1日 改訂日:2016年10月1日

誠実で健全な企業であるために

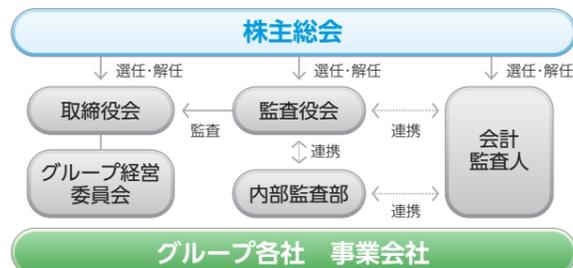
法令を遵守するだけでなく、社会倫理に照らして正しい事業活動をグローバルに展開するための取り組みを、グループ全体で継続的に推進しています。



コーポレート・ガバナンス

田中貴金属グループは、すべてのステークホルダーの皆様のご権利と利益を尊重し、適法かつ適正な業務執行および会計等を実現するためにコーポレート・ガバナンス体制を構築し、内部統制基本方針を定めています。この体制と基本方針に基づき取締役会・グループ経営委員会・監査役会・内部監査部がそれぞれの役割を果たしています。

●ガバナンス体制図



リスクマネジメント推進体制

●リスクマネジメント推進体制図



リスクマネジメント委員会

最高責任者：代表取締役社長執行役員
委員長：サステナビリティ・広報本部長 委員：各本部長

- ・リスク評価の実施
- ・重要リスクの決定、対応指示

リスク対応計画の施策と対応策の実行

個別リスク対応委員会

グループ各社／各部門

田中貴金属グループでは、TANAKAホールディングス代表取締役社長執行役員を最高責任者、サステナビリティ・

広報本部長を委員長とするリスクマネジメント委員会を設置しています。年2回開催される同委員会では、リスク評価、リスク対応状況の進捗確認、対応すべき重要リスクの決定と対応指示を行っています。同委員会で決定した重要リスクは、個別リスクを管理する各委員会または担当部署がリスク対応計画を策定し、計画に基づきリスク対応策を実行しています。

事業継続計画(BCP)

事業継続計画は自然災害などさまざまなリスクに応じて随時改定しています。風水害、新型コロナウイルス感染症のほか、噴火リスクについても対応マニュアルの整備を進めています。また、2020年度は国内10工場にライブカメラを設置しました。工場や周辺の状況をスマートフォンから確認することが可能です。今後、風水害などの際に出社判断や処置判断等に活用することを想定しています。



スマートフォンの画面(イメージ)



コンプライアンス教育

コンプライアンス意識の向上と不正行為の防止を図るため、コンプライアンス・ガイドブックの周知、社内通報制度、独占禁止法遵守、腐敗防止、個人情報保護をテーマに、eラーニングを実施しています。さらに、コロナ禍でのテレワーク推進により懸念される技術情報等流出の防止を目的として、役員および技術情報に触れることの多い社員を中心に2021年1月から営業秘密についてのeラーニングを実施し、2021年7月現在で約680名が受講しています。

人権の尊重

田中貴金属グループは、「田中貴金属グループ 行動憲章・行動規範」において、国籍、人種等によるあらゆる差別をなくし、児童労働や強制労働を一切行わないことを宣言しています。また差別やハラスメントなどの行為を防止するための社内教育を行い、相談や違反を通報できる制度を設け、通報者は不利益を受けないよう厳格に保護されています。さらに、移民労働者に対しては、採用にあたり労働者から登録料や手数料を徴収しないこと、身分証明書、パスポートまたは労働許可証、ビザ等は本人が保管することなど、労働者の人権に配慮するための手順を定めています。

ハラスメント研修

当社グループでは2014年度から「ハラスメント研修」を役職者向け・一般社員向けと内容をきめ細かく分けて実施してきました。2019年度からは企業の中で起こり得るハラスメントに広く対応すべく研修内容を見直し、身近な事例やケーススタディなどを取り入れて実施しています。

社内通報制度

2020年度の社内通報件数は11件でした。全ての案件につき、社内通報制度規程に基づいて通報者保護と守秘義務を遵守し、適正に対処しています。

安全保障貿易管理についての取り組み

国際的な平和および安全を基盤として世界中のお客様に製品やサービスをお届けするグローバル企業にとって、国際協調に基づく適正な輸出管理は欠かすことのできない責

務となっています。田中貴金属工業(株)は、外為法等法令に則り、独自の「安全保障貿易管理規程」(CP)を定め、経済産業省に届出しています。当社の製品や技術が国際テロ犯罪や核兵器・生物化学兵器等に転用されることを防ぐための慎重な輸出管理を行うとともに、域外適用により事実上全世界に規制が及び米国輸出管理規則(EAR)などについても常にその動向を把握し適切な対応に努めています。

AEO認定輸出者としての取り組み

田中貴金属工業(株)は、税関当局から認められた特定輸出者(AEO認定輸出者)として、貨物、輸送、敷地等の安全性の確保、内部監査、委託先管理、税関・社内の連絡体制、教育体制などのコンプライアンス体制を整備するとともに、信頼性の高いセキュリティのもとで製品提供を行っています。



個人情報管理の推進

田中貴金属グループでは、個人情報管理規程に基づき、個人情報を「個人のお客様」「法人のお客様」「社員等」の3つのカテゴリに分類して管理を行っています。特に「個人のお客様の個人情報管理」に関しては、ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)の認証を取得しています。また、半年に1回開催する個人情報管理委員会において管理状況の確認および継続的改善を進め、個人情報漏えい事故の防止に努めています。

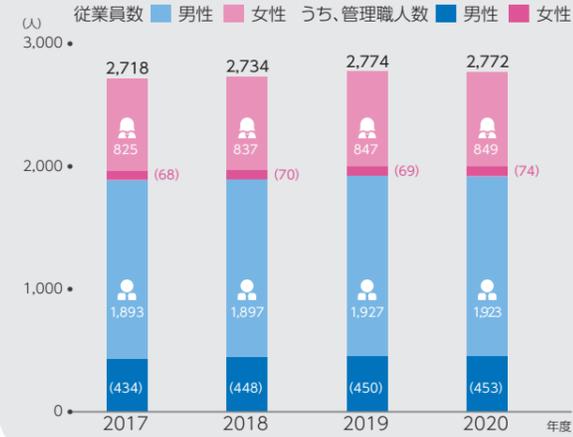
TANAKA NOW

ISO27001をご存じでしょうか。ISMS(Information Security Management System)という情報セキュリティ管理体制を運用するための国際規格です。当社はこの規格の一部を使用し、お客様からお預かりしている大切な個人顧客個人情報の管理を行っています。事故が起きれば、会社は社会的な責任を問われますし、何よりもお客様に多大なご迷惑をおかけします。私たち事務局では、このような事故を未然に防ぐためにも、個人情報管理に対する理解がより深まるよう、教育等を通して社員の皆様と日々活動しております。

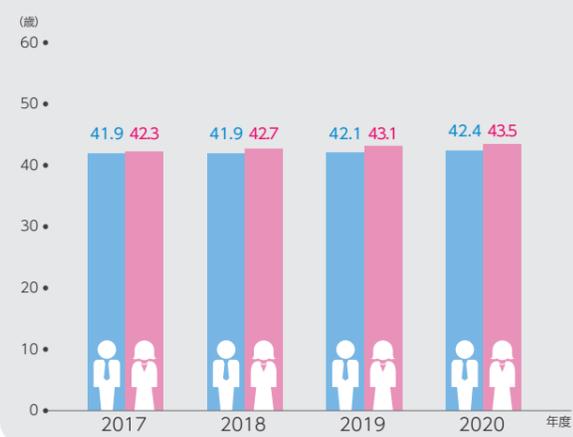
ISO27001事務局 岡田 美奈子



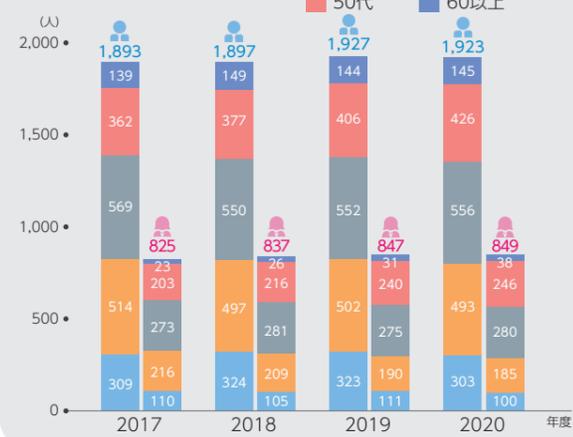
【従業員数・管理職人数(国内)】



【平均年齢(国内)】



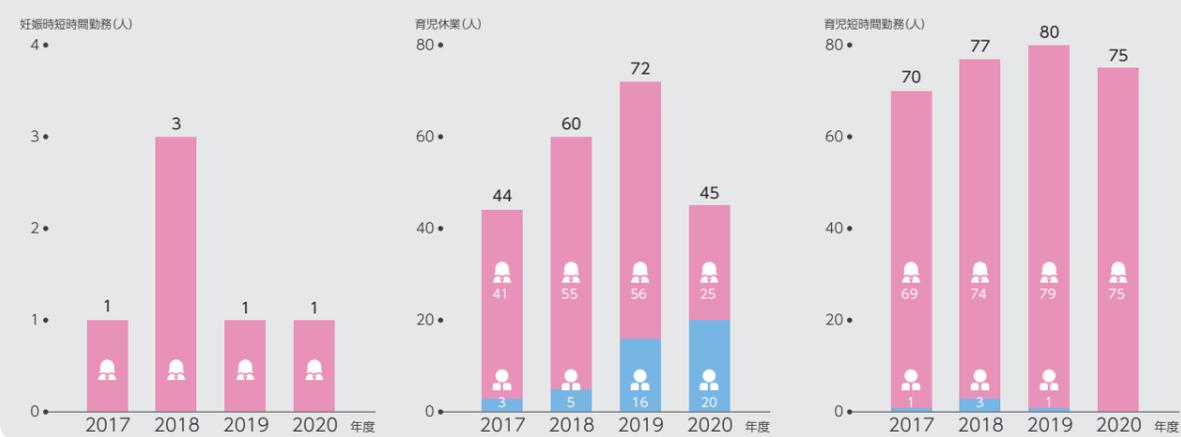
【年齢別従業員数】



【中途採用比率】



【妊娠時短時間勤務・育児休業・育児短時間勤務】



【離職率】



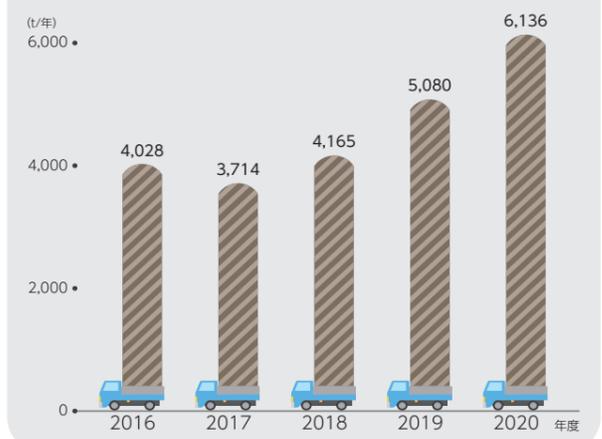
【障がい者雇用率(国内)】



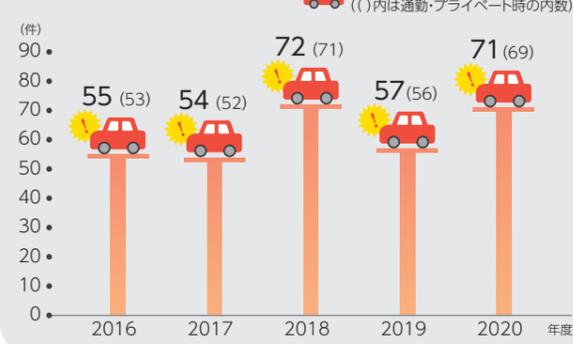
【CO2排出量】



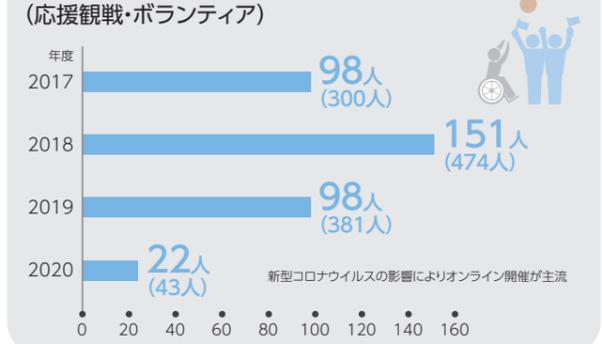
【産業廃棄物排出量】



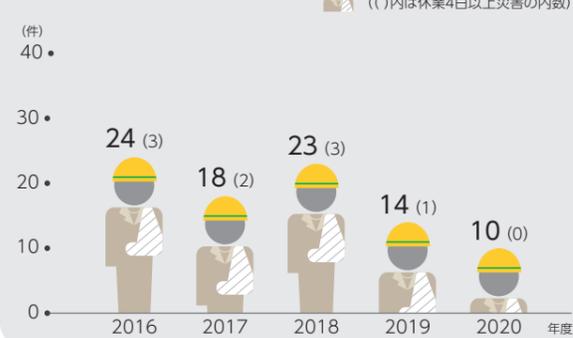
【交通事故発生件数】



【障がい者スポーツ 参加人数】



【労働災害発生件数】



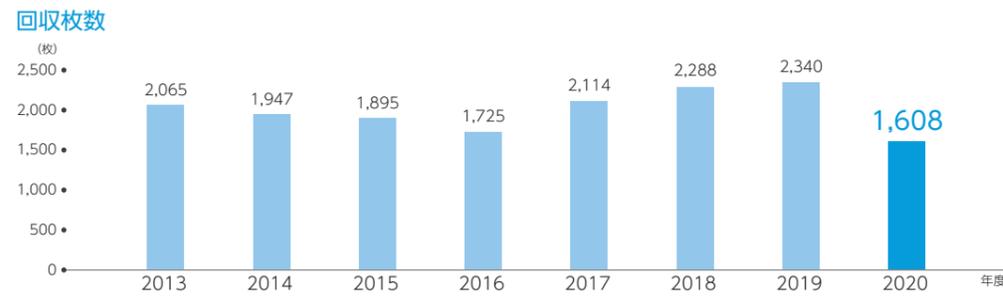
【新規特許登録件数(国内)】



田中貴金属グループでは毎年従業員にCSR報告書アンケートを実施しています。例年は紙のアンケート用紙を各工場・事業所・支店等で取りまとめた上で社内便にて回収していましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染予防のために各拠点での取りまとめを行わず、従業員から事務局への個別発送に切り替えるとともに、ウェブサイト上でのアンケートを導入しました。

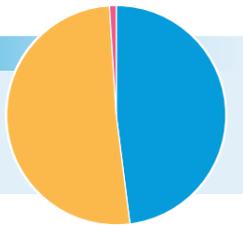
※一部、社外のお客様からのアンケート回答も含まれます。

「CSR報告書2020」アンケート結果



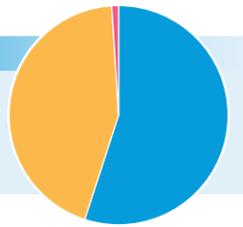
わかりやすさ

- わかりやすい 48%
- ぶつう 51%
- わかりにくい 1%



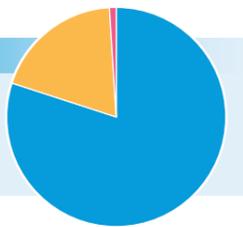
記載内容

- 充実している 55%
- ぶつう 45%
- 不足している 1%



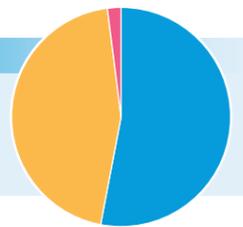
情報量

- 適切 81%
- 多すぎる 19%
- 少なすぎる 1%



デザイン

- 良い 53%
- ぶつう 45%
- 良くない 2%



昨年度アンケートからのご意見・ご要望

アンケート回答者から毎年さまざまなご意見・ご要望をいただいています。今後も皆様からのご意見・ご要望を参考に改善していきます。

ご意見・ご要望	改善点
工場などのコロナ対策を知りたい	P7の特集で工場・店舗等の対応を取り上げました
アンケートを紙だけでなく電子化できないか	ウェブアンケートを追加しました
CSR報告書の回収が早過ぎてじっくり読めなかった	前年の2か月後から今回は半年後にしました
コースター以外のものを検討してほしい	今回はコップにしました
コースターが届いていない	確認して対応しました
安全対策の改善後を分かりやすくしてほしい	改善後を分かりやすくしました

田中貴金属グループでは、CSR報告書に掲載するCSRパフォーマンスデータの信頼性向上を目的として、株式会社サステナビリティ会計事務所にて第三者保証を依頼しています。詳細は以下の通りです。

1. 目的

「CSR報告書2021」P34-35掲載の2020年度CSRパフォーマンスの各指標が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続きを実施する。

2. 保証手続き

国際保証業務基準ISAE3000に準拠して実施。概要は以下。

- ・算定方針について担当者への質問
- ・算定方針の検討
- ・算定方針に従って各種指標が算定されているか、試査により入手した証拠との照合ならびに再計算の実施

3. 結論

保証手続きの結果、各種指標が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

